

4 学校における子ども読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
79	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。		①「子どもと本のつどい」講師上橋菜穂子さん18人②「服部かみしばい大会」2回124人			実施	高校生と大学生を対象とした読み聞かせボランティア講座では、近隣の保育所で絵本の読み聞かせを行った。中学2年生が図書館で行う職業体験でも、図書館のおはなし会で読み聞かせを行ったり、お勧めの本のPOPを作成するなど、読書に関わることに取り組んだ。また中学生の読書郵便や小学校図書委員おすすめの本、詩と川柳の作品展示などを実施した。	市立図書館
	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。					実施	本の帯作成や、図書委員会が中心となって、図書館まつりの実施を行った。	義務教育課
80	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取り組みを進める。					実施	「図書の時間」や「朝の読書」を設定し、教員と学校司書など学校図書館担当が協力して、読書の楽しさを知る学習をしたり、「総合的な学習の時間」などの授業の中で、学習内容や児童生徒の興味関心に沿って、関連した本の紹介や読み聞かせなどにより、学習を深めている。また、地域ボランティアや保護者等の協力を得て、読み聞かせを行っている学校もある。中学校では、「中学校読書活動推進事業」を全校で実施し読書活動の活性化を進めた。	小・中学校義務教育課
81	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取り組みを行う。					実施	年度始めの図書の時間などにオリエンテーションを学校図書館で実施し、図書館の使い方、レファレンスサービスなどの図書館サービスを児童生徒に伝えている。月曜から金曜まで毎日図書館を開館し、「図書の時間」や休み時間、そして放課後に貸出を行っている。また、リクエスト制度を取り入れ、児童生徒が読みたい本を読めるようにしている。校内の本で足りない場合は週1回の物流便により公共図書館や市内他校の協力を得ている。	小・中学校義務教育課

No.	事業名	事業内容	指標	1 8 年 度	1 9 年 度	2 0 年 度	21年度実績		関係部 局・団体
							実績	実施状況と課題	
82	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるよう機会をつくる。					実施	児童生徒が、図書委員会や自主的な活動として、本の紹介や読み聞かせなどをおこなったり、授業の中で互いに感想を交流したりしている。	小・中学校
83	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。平成20年度より「おはなし会がやってきた！」に変更。おはなし会ごとに子ども文庫やおはなしグループに個別に依頼する形とした。 [58、100、135にも掲載しています。]	おはなし会の回数 参加人数	8カ所で10回開催1,022人 小学校は1校84人	8カ所で9回開催984人	7カ所で9回開催661人	4カ所で8回開催365人	民間保育園1カ所、支援学校1校(4回開催)、障害児通園施設2カ所でおはなし会を行った。	市立図書館 子ども文庫 おはなしグループ
84	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	回数 参加人数	1回40人	40人		1回15人	蛭池小の保護者を対象に親子で絵本を楽しむための講座を実施。	市立図書館
	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。					実施	保護者への働きかけとして、児童・生徒向けの図書館だよりなどで、保護者啓発を含め「子どもの読書の大切さ」や学校図書館の活動が伝わるように工夫している。授業や日頃の図書館サービスを通じて、児童・生徒、教職員を主な対象に活動しているため、保護者への直接的な活動は活発とはいえない。	学校図書館 義務教育課
85	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。					実施	地域ボランティアが読み聞かせをおこなっている学校では、情報交換が行われている。	小・中学校 義務教育課
	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	「子どもと本をつなぐ地域交流会」の回数・参加人数	1回32人	3回151人	4回121人	4回107人	地域ボランティアが読み聞かせをおこなっている学校では、情報交換が行われている。また地域交流会では読み聞かせボランティアと学校司書や保健師など、様々な子どもに関する専門職が情報共有する中で、子ども読書に関する地域の課題解決になるようなアイデアを出し合った。	義務教育課 市立図書館

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
86	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、全国学校図書館図書費などをふまえ、図書費の確保等、資料整備を進める。	図書購入予算	図書購入費 小学校 2,601万円 中学校 1,402万円	図書購入予算 小学校 2,712万円、中学校 1,439万円	図書購入予算 小学校 2,725万円 中学校 1,579万円 幼稚園 154万円	図書購入予算 小学校 2,747万円 中学校 1,579万円 幼稚園 154万円	厳しい財政状況の中、前年度予算を確保した。 しかし、義務教育施設の耐震性確保といった安心・安全に対する喫緊の課題への対応などにより、今後において同水準の予算確保は困難が予想される。	○教育施設課 総務課 義務教育課
87	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。					実施	学校図書館の整備については2教室を1教室にする工事が伴い、1校あたり1,500～1,900万円程度かかり、さらに耐震補強も必要のため予算の確保は困難と思われるが、財政状況を考慮しながら整備していきたい。	教育施設課
88	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。					実施	導入にかかわる必要経費の資料収集を行った。	○義務教育課 市立図書館 教育センター
89	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。					実施	週1回の稼働がより効果的に運用できるよう市立図書館と共に研究を進める。	○義務教育課 市立図書館
90	学校・市立図書館連絡会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [157にも掲載しています。]	会合・研修回数	8回(8館×1回)	10回(8館×1回+1回+1回)	9回(8館×1回+1回)	9回(8館×1回+1回)	義務教育課を通じて、市立図書館の関係者と担当する地域の小学校・中学校の学校司書と会合を持った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。	義務教育課 市立図書館
91	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 [17、72、160をご参照ください。]	生徒の参加人数	12人	9人	11人	20人	おはなしボランティアポケットによる中学校での読み聞かせボランティア体験学習を5回実施。市立図書館での本選び、本読みの実演、プリントでの説明・練習。放課後こどもクラブ(3か所)での読み聞かせの実習の指導を実施した。	市立図書館 おはなしボランティアポケット
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 [17、72、160をご参照ください。]					実施	保育実習や職場体験活動、委員会活動の一環として、中学生が近隣の保育所や幼稚園、小学校で絵本の読み聞かせを行った。	義務教育課

No.	事業名	事業内容	指標	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	21年度実績		関係部 局・団体
							実績	実施状況と課題	
91	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	講座回数参加人数	4回のべ21人	3回のべ30人参加	高校生ボランティア講座3回 21人	4回	地域教育振興課と市立図書館が共催し、「高校生と大学生のための読み聞かせボランティア講座」を実施した。読み聞かせについての講座を受講後、近隣の保育所で読み聞かせを行った。高校生の参加が少なく、高校生へのPRおよび、受講後の活動支援が今後の課題となる。	市立図書館
92	「学校における読み聞かせボランティアのバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。	バックアップ講座の回数参加人数	千里1回目16人・2回目16人、庄内7人	3回 86人	2回 54人	1回 16人	21年度は岡町図書館でのみの実施となった。	市立図書館
93	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。					実施	読書活動推進計画を周知し、管理職研修や、管理職・学校図書館教育担当者・学校司書が対象の研修会において、学校図書館の活用のあり方等についての研修を行った。	義務教育課
94	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔162をご参照ください。〕					実施	教職員（管理職、学校図書館担当教員、学校司書）対象の研修を年2回行った。また、各校において学校図書館の活用に関する研修も行われている。	義務教育課
95	学校図書館教育担当者（司書教諭）研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。					実施	年2回、研修会を開催し、講演会や市立図書館の見学を行った。	義務教育課
96	学校司書研修	学校教育における効果的な読書並びに学習活動への支援に関する研修を行う。					実施	学校司書の連絡会を実施し、小中部会ごとに各校の取り組みの交流等を行った。また、公共図書館や教育委員会、学校現場から講師を招き研修会も行った。	義務教育課